

FOLFOX6 (5-FU+ ℓ -LV+L-OHP)+Panitumumab療法						
		Day				
薬剤名	用法用量	1	2	3	8	14
ベクティビックス (Panitumumab)	6mg/kg 点滴静注(初回60 ※1	↓				
オキサリプラチン (L-OHP)	85mg/ m^2 点滴静注 (2時間)	↓				
レボホリナート (ℓ -LV)	200mg/ m^2 点滴静注 (2時間)	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/ m^2 静注時間 (5分)	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/ m^2 持続静注 (46時)	→			46時間	

※1 2回目以降は30分も可能

【制吐対策】

- | |
|--|
| ① 5-HT ₃ 受容体拮抗薬 (Day1) |
| ② デキサメタゾン静注9.9mg 1V (Day1) デキサメタゾン経口8mg (Day2~3) |

【基本事項】

EGFR陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ①前投薬の確認、オキサリプラチンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ②オキサリプラチンの血管痛は刺入部位を保温することで軽減することがある
- ③オキサリプラチンとレボホリナートは同時に点滴静注

【併用禁忌薬】

TS-1が投与されていないことを確認。 ※併用注意フェニトイン、ワルファリン

【主な副作用】

アルキ-様症状、手足症候群、下痢、骨髓抑制、恶心や口内炎、末梢神経障害、皮膚障害、